

災害対策関係功労者として7社を表彰

国土交通省中国地方整備局では、災害時に中国地方整備局が実施する応急対策や災害支援等に関する活動において、特に顕著な功績があった個人や団体を対象に、「災害対策関係功労者」として表彰を行っています。

この度の表彰は、平成23年6月～平成23年12月に発生した災害等を対象として、顕著な功績があった団体に中国地方整備局長から感謝状を贈呈するものです。

日野川河川事務所管内では、台風12号の災害応急対策において、迅速かつ的確な対応により、災害の拡大防止、二次災害の防止に貢献した7社が表彰されることになりました。

■台風が接近する過酷な環境下で、排水ポンプ車による排水作業を実施
(株)エイ・エイチ・エイ、(有)平井工業

■台風通過直後の危険な状況下で、砂防施設点検調査を実施
(株)荒谷建設コンサルタント、サンイン技術コンサルタント(株)
(株)ヒノコンサルタント、(株)ヨナゴ技研コンサルタント

■台風による被災箇所において、被災状況調査を迅速化かつ的確に実施
西谷技術コンサルタント(株)



米子市青木地区浸水状況



米子市青木地区排水ポンプ車稼働状況

【日野川流域の災害概要】

台風12号は3日10時前に高知県東部に上陸し、その後、台風はゆっくりと北上して四国地方、中国地方を縦断し、4日未明に日本海に進みました。

台風が大型で、さらに台風の動きが遅かったため、台風周辺の非常に湿った空気が長時間流れ込み、日野川流域、大山周辺で強い雨が降り、時間雨量は多いところで40mmを超え、日野川は戦後最大級の洪水（車尾観測所：約2,100m³/s）となりました。特に大山周辺の降雨は、既往最大を超える記録的な大雨（72時間雨量が870mm）となりました。

このため、日野川流域において浸水、土砂災害等により、鳥取県米子市青木地先及び西伯郡南部町境地先等で床上床下浸水などの住家被害、田畑の冠水などの農林水産業への被害、砂防施設へ向かう管理道路が被災しました。

また、皆生海岸では、9月2日19時から風が強くなり、9月4日未明まで平均風速10m/s以上の風が吹きました。9月3日13時には、富益観測所で平均風速21.0m/sを観測しました。

このため、皆生海岸においては波浪により、皆生工区の離岸堤が沈下するなど被害が発生しています。